

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会
CISPR I 作業班（第 2 回）議事要旨案**

- 1 開催日時：平成 24 年 9 月 5 日（水） 14 時 00 分～16 時 10 分
- 2 開催場所：金融庁 14 階 1415 会議室
- 3 出席者（順不同・敬称略）

【構成員】 雨宮主任（NTT-AT）、堀主任代理（ソニー）、青谷構成員（CIAJ）、秋山構成員（NTT）、阿良田構成員（電技協）、川田構成員（JET）、黒沼構成員（協立電子）、篠塚構成員（NICT）、醍醐構成員（JBMIA）、垂澤構成員（NTT ドコモ）、千代島構成員（PFU）、中野構成員（JEMA）、羽田構成員（JQA）、濱住構成員（NHK）、廣瀬構成員（JEITA）、深澤構成員（TBS テレビ）、松田構成員（JEITA）

【関係者】 奥村（パナソニック）、牧本（JQA）

【事務局】 黒田、下谷（総務省）

4 議事概要

- (1) 事務局から配付資料の確認が行われた。
- (2) 資料 2—1 前回議事要旨案について、修正意見等あれば 1 週間以内に事務局まで連絡することで承認された。
- (3) 資料 2—2 CISPR バンコク会議 SC/I 対処方針（案）について、雨宮主任から説明があり、以下の議論の後、修正する点を含めて承認された。

○羽田構成員：7.1 項の(2)について、我が国の対応について CDV 化には賛同するとあるが、コメント内容を見ると、そのコメントの 1 つが不確かさの導入に関するものである。ここについては、ソウル会議で「検討を開始することには賛成するが、その定義を導入することは反対」となっているので、CDV 化に賛同するということでは、その不確かさの定義の導入にまで関わってくる。

雨宮 主任：我が国の対応の表現が不十分であるため、明確に対応を記載し、誤解の無いように修正する。

○堀主任代理：PAS について、反対という立場を取らなければテクニカルコメントを通すことが出来ない。反対という立場を取るのか。

廣瀬構成員：コメントを提出するので、反対という立場をとる方向で検討している。

○篠塚構成員：不確かさの関連で、LAN の測定の場合に速度を変えれば 30dB も違ってくる可能性があるという話があったが、CISPR22 で通信ポートを測定する際に、最大通信速度で測定する等の規定はあるのか。

雨宮 主任：ディスプレイであれば、カラーバーや H スクロール等、規定がある。

篠塚構成員：ある EUT をサイト A で測定した場合とサイト B で測定した場合とで 30dB も違ってくると言うことなのか。それとも、ある EUT の動作状態を変えた場合に 30dB 違うのか。

両宮 主任：EUT の動作状態を変えた場合の話である。

羽田構成員：規格の中では、ランダムデータともう 1 種のを混ぜるようになっているが、混ぜる比率によっても変わってくる。

篠塚構成員：そうすると不確かさが 30dB とかになってしまうが、それは不確かさとして意味をなさない。

両宮 主任：そのようなこともあるので、不確かさの議論において測定器の数 dB の不確かさだけで議論してはいけないと考える。

- (4) 資料 2-3 CISPR バンコク会議 SC/I WG1 対処方針（案）について、羽田構成員から説明があり、特に異議なく承認された。
- (5) 資料 2-4 CISPR バンコク会議 SC/I WG2 対処方針（案）について、千代島構成員から提案説明があり、特に異議なく承認された。
- (6) 資料 2-5 CISPR バンコク会議 SC/I WG3 対処方針（案）について、秋山構成員から説明があり、特に異議なく承認された。
- (7) 資料 2-6 CISPR バンコク会議 SC/I WG4 対処方針（案）について、青谷構成員から説明があり、特に異議なく承認された。
- (8) 資料 2-7 CISPR バンコク会議 SC/I 関連会議参加者（案）について説明があり、特に異議なく承認された。
- (9) その他として、田中構成員に代わり、青谷構成員に交代となったことが紹介された。
- (10) 次回会合は未定。

以上